

体力の不安を乗り越えて！

鳥居消防士の高校時代は、少しでも家計の負担を軽くしようと、部活動には入らずアルバイトに励んだため、長期間運動から離れてしまったとのこと。そのため、体力的な不安は大きく、専門学校仲間と共に体力試験のためにトレーニングをし、採用が決まってからはランニングを始め、長い距離を速く走れるように努力を重ねました。

そしてその努力は半年間の初任科教育で成果を見せました。男子学生ですらついていくのが必死なランニングでは、速さによって3チームに分かれるのですが、女子学生で唯一2番目のチームで走り、粘り強さを発揮していました。



「こんな一面もあるんです」

男性に負けないほどの粘り強い気持ちを持っている鳥居消防士ですが、意外な一面もありました。「キャラクターのぬいぐるみやグッズを集めるのが大好きなんです」と話しながら、大好きな『すみっこぐらし』のキャラクターアイテムを嬉しそうに見せてくれました。他にもアニメに出てくる『ニャンコ先生』が好きらしく、ぬいぐるみやグッズを集めているそうです。



先輩方に支えられながら…

仕事でやりがいを感じた出来事を聞いてみたところ、救急搬送した女性に「女性がこういう仕事をしてるのってステキね」と言われたことだと答えてくれました。女性傷病者に女性に対応することで、大きな安心感を与えられると実感したそうです。

しかし時には、現場でスタミナやパワーが求められることもあります。そんな時はまだまだ不安を感じるようですが、一緒に活動している男性職員から声をかけてもらい、負担の少ないところを担当させてもらっているとのことでした。



救急救命士の資格を有しているため救急隊として活動することが多い鳥居消防士ですが、理想は「救急現場だけでなく様々な現場で活動できる女性消防職員」と火災現場で活動する勇敢な消防士の姿に憧れていた鳥居消防士らしい返事をしてくれました。初めは、男性の多い職場の雰囲気馴染めるのか不安だったそうですが、今ではすっかり馴染み、たくさんの先輩方に支えられながら楽しそうに勤務をしています。

消防を目指す女性へ

最後に、消防を目指す女性へのメッセージをお願いしました。

まだまだ男性が多い職業で、暑い夏でも防火衣を着装して火災現場で活動するなど、過酷なことが多いです。そのため、男性にも劣らないくらいの体力が必要です。これは、自分の身を守ることに繋がります。消防職員を目指すなら、今からでも遅くありませんので、少しずつ体力づくりを始めてみてください。

また、消防は挨拶・規律に厳しい世界でもあります。ときに、指摘や注意を多く受けることもあるでしょう。男性職員に体力面で劣ってしまうことを、悲観的に考えてしまうこともあるかもしれませんが、その中でも「気持ちだけは誰にも負けない」という強い心が何よりも大切です。

『女性が消防を目指す』。不安なこともあると思いますが、どんなことも必ず乗り越えられるような、強い信念を持ってください。

体を動かすことにブランクがありながらも、幼少からの夢を叶えた努力家の鳥居消防士。仕事に対する強い信念と粘り強さ、そして優しさを武器に、今後の活躍を期待したいと思います。

